

仙台厚生病院を受診された患者さんへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。
通常の診療で得られた過去の診療情報や残存検体等を使用して行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得る代わりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開する事が必要とされています。また、研究結果を学会等で発表する事がありますが、個人を特定する情報は公開されません。

研究課題名	経頸動脈経皮的動脈弁移植術の適格性の検討
当院の診療科・研究責任者	循環器内科 中嶋 正貴
他の研究機関	無し
本研究の目的	経皮的動脈弁移植術(TAVR)は大腿動脈アプローチ(TF)が標準手技である。動脈アクセスの性状により非大腿動脈アプローチ(Alternative access)を要することがある。経頸動脈アプローチ(TC)によるTAVRは2016年にフランスで初めて報告され、他のAlternativeアプローチに比して、良好な臨床成績であることが報告されている。2024年より本邦で保険償還を得て、臨床使用可能となっている。欧米人と日本人は体格が異なるため、解剖や手技の適格性が不明であり、本邦で適応可能な症例の頻度は不明である。 本研究では、頸動脈の解剖学的特徴及び、TC-TAVRの適格性を明らかにすることを目的とする。
研究期間	2023年1月1日～2024年12月31日
研究の方法（対象となる方）	大動脈弁狭窄症に対し、当院で経皮的動脈弁移植術を施行した患者
研究の方法（利用する情報）	カルテから臨床情報を収集する。追加検査は行わない。
個人情報の取扱い	利用する情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除致します。 (利用する情報に個人を特定する情報は一切含まれておりません。) 研究結果を学会等で発表する可能性がございますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用致しません。
本研究の資金源（利益相反）	本研究に関連し、開示すべき利益相反はありません。
お問い合わせ先	研究への利用を拒否する場合等の連絡先 【電話】 022-728-8000 【担当者】 中嶋 正貴
備考	学会発表予定